

# サステナビリティレポート

## 2023



JFE プラリソース 株式会社

## 企 業 理 念

「 J F E プ ラ リ ソ ー ス 株 式 会 社 は、  
環 境 と 調 和 し た 社 会 の 構 築 に 貢 献 し ま す 。 」

## 行 動 規 範

「 挑 戦 。 柔 軟 。 誠 実 。 」

## 目次

■	ご挨拶	・・・ 1
■	会社概要	・・・ 2
■	品質環境マネジメント	
	品質環境マネジメントシステム	・・・ 3
	環境への取り組み	・・・ 6
■	ソーシャルコミュニケーション	
	お客様・お取引様とともに	・・・ 9
	地域社会のみな様とともに	・・・ 10
	従業員とともに ～安全安心な職場づくり～	・・・ 12
	従業員とともに ～ウェルネスライフの実現に向けて～	・・・ 17
■	コーポレートガバナンス	・・・ 21
■	事業紹介	・・・ 28
■	J F E プラリソースの C S R 重要課題	・・・ 37
■	JIS Q 9091:2016 自己適合宣言	・・・ 43

サステナビリティレポート 2023 電子版は、以下のサイトでご覧いただけます。

- ・ J F E プラリソース株式会社 <http://www.jfe-plr.co.jp/>
- ・ C S R 図書館. net <https://csr-toshokan.net/>
- ・ 福山市次世代エネルギーパーク 施設紹介 <http://fukuyama-energypark.com/guide/>

# ごあいさつ



## 資源循環型社会づくりへ貢献

JFEプラリソース株式会社は、2009年7月JFE環境株式会社の『容器包装プラスチックリサイクル事業』を会社分割して承継しました。以来、高炉やコークス炉へのプラスチック利用及び材料リサイクルを含めたプラスチックリサイクル事業を通して、資源循環型社会づくりに努めております。

NFボード®を利用した材料リサイクルにより『廃プラスチックリサイクル推進とCO<sub>2</sub>削減』更に使用後再リサイクルすることにより『化石燃料削減』等を実現しています。環境に優しい企業として、市民の皆様へのリサイクルの『見える化』に注力し、各種リサイクルを推進しております。

また、環境保全は本事業の根幹であり、事業活動に伴う環境負荷をできるだけ少なくするために、全員参加型の環境マネジメント活動を継続展開し、トップレベルの環境配慮型企業を目指します。

現場パワーアップを通して働きがいのある会社として、社員一同一致団結して『創意・挑戦・創造』する会社づくりに向け頑張っていきたいと考えております。

弊社に対し、より一層のご支援とご愛顧を賜りますようよろしくお願いいたします。

代表取締役社長

田村 望

# 会社概要

会社名 JFE プラリソース株式会社  
代表者 代表取締役社長 田村 望 (2023年4月現在)  
役員 取締役 井ノ口 孝憲 竹生 博 山内 崇 大平 安義  
監査役 山内 宏和

設立年月日 2005年11月  
2009年3月登記(定款・社名変更)  
資本金 90百万円  
売上高 48億円(2022年度)  
従業員数 約90名  
所在地 本社・京浜事業部 〒210-0866 神奈川県川崎市川崎区水江町5番地1  
TEL 044-299-5193 FAX 044-299-5328  
福山事業部 〒721-0956 広島県福山市箕沖町113番地  
TEL 084-981-3160 FAX 084-981-3170  
URL <http://www.jfe-plr.co.jp/>

事業内容 一般廃棄物、産業廃棄物の再資源化およびリサイクル事業  
上記事業に関する技術・装置および再生プラスチック商品の販売  
沿革 2000年4月 水江原料化工場稼働(処理能力 242t/日)  
福山原料化工場稼働(処理能力 254t/日)  
2002年9月 NFボード製造工場稼働  
2009年7月 JFE環境株式会社から容器包装プラスチックの  
リサイクル事業を承継  
JFEスチール株式会社が全株式取得



京浜事業部  
水江原料化工場



京浜事業部  
NFボード製造工場



福山事業部  
福山原料化工場

# 品質環境マネジメント

当社は、企業活動として行う容器包装プラスチックリサイクル事業（イコール）環境活動であるとの認識のもと、環境負荷低減の社会的責務を果たすとともに、ステークホルダーの満足度を重視した品質向上への取り組みを全社一丸となり継続しています。

## 品質環境マネジメントシステム

品質環境方針を定め、品質（ISO 9001）および環境（ISO 14001）マネジメントを推進しています。

### 品質環境方針

#### <基本理念>

JFEプラリソース株式会社は、プラスチック・リサイクル事業を通して、環境負荷の低減を実現し循環型社会の形成に貢献します。

顧客要求事項及び適用される法令・規制要求事項を明確にし、理解し、一貫してそれを満たし、製品及びサービスの適合並びに顧客満足度を向上させる能力に影響を与え得るリスク及び機会を決定し、顧客満足向上の重視を維持した事業活動を行ないます。

品質マネジメントシステムならびに環境マネジメントシステムにのっとり、すべての従業員は、一丸となって品質環境マネジメントに取り組みます。

#### <基本方針>

- (1) 顧客満足度の向上、環境負荷の低減を両軸とした事業活動を行い、事業の発展とともに社会コストの低減をリサイクルにより果たすという目的のため、品質環境マネジメントシステムにのっとり、品質環境マニュアルを定め、遵守し事業を行います。
- (2) 品質環境マネジメントシステムは、当社のすべての組織、すべての活動、製品及びサービスに適用します。
- (3) コンビナート、エコタウン、次世代エネルギー・パークの構成メンバーとして環境汚染を予防し、事業活動が与える環境負荷の低減、事業により成される環境負荷の低減を維持・向上・継続します。
- (4) 関連する法令、その他の要求事項を遵守します。
- (5) 品質マネジメントシステムの継続的改善、環境パフォーマンスを向上させるための環境マネジメントシステムの継続的改善を推進します。

2020年4月1日

代表取締役社長 田村 望

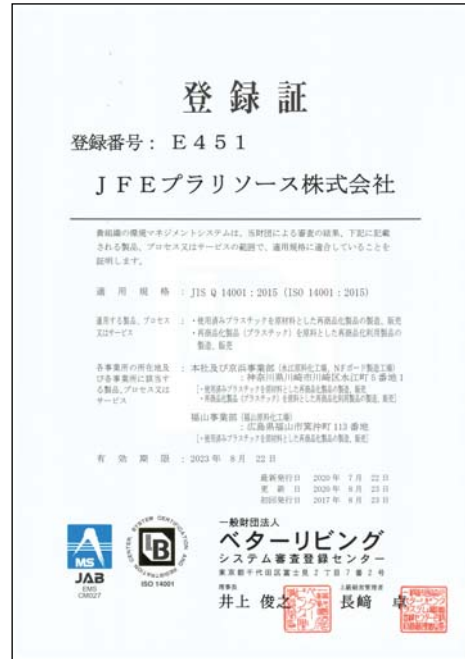
## 認証取得

当社は、継続的に環境負荷低減と顧客や規制の要求を満たすため、品質マネジメントシステム (QMS) ISO 9001:2015と環境マネジメントシステム (EMS) ISO 14001:2015の第三者認証を2017年に取得し、5年が経過しています。

ISO 9001



ISO 14001



材料リサイクルにおいては、JIS Q 9091:2016 の第三者認証を2020年に取得しています。

JIS Q 9091:2016とは、事業者から自動車メーカーや家電メーカー等に提供されるプラスチック再生材料の品質を保証するための規格です。当規格を基に、リサイクラー（当社）やコンパウンダーなどの事業者が品質マネジメントを行います。本認証を取引関係者間で利用することによりリサイクルプロセスの信頼性を高め、再生材の活用やリサイクルの促進に寄与することが可能となります。尚、JIS Q 9091はISO 9001:2015の追加指針であり、プラスチック再生材料の提供にかかわる要求事項が追加で設けられています。

JIS Q 9091:2016



# 品質・環境マネジメント取り組み状況

## 年間計画と実績評価

全社共通及び事業部個別の活動は年間スケジュールを基に実施しています。目標達成レベルを設定し、その実績や達成度を月1回事業部長会において評価しています。PDCAサイクルがきちんと機能していることが有効性の確認となります。従業員ひとりひとりが常にPDCAを意識し継続的改善を行い、意図した成果を出せるよう階層ごとにレベルを設定して活動に取り組んでいます。

重点実施事項		活動内容	
1	品質および環境マネジメントシステム（QMS及びEMS）の導入と全従業員による取り組み	1	品質環境マニュアルの教育
		2	各工場のQMS及びEMSの教育
		3	内部監査受審と是正
		4	自主パトロール（環境パト、品質パトなど）
2	環境汚染の予防と環境負荷低減の維持・向上・継続	1	油・廃液流出トラブル防止：油・廃液流出防止訓練実施
		2	火災訓練・消火訓練実施・発災リスクの見直し
		3	著しい環境側面の監視と緩和措置
3	関連する法令、その他要求事項の順守	1	環境関連法・条例、その他変更点まとめと関係者への周知
		2	環境活動計画表の実施状況確認
4	QMS及びEMSの継続的改善の推進	1	技術標準の適時作成と定期見直し
		2	作業標準の適時作成と定期見直し（読み合わせ）
		3	作業標準の教育（演練：重要12標準を選択）
		4	計測機器点検
5	個別活動目標	1	ISO18263適合：規格コード合格100%
		2	クレーム件数、コンプレイン件数
		3	ペレット製品歩留及びNFボード合格率
		4	電力原単位（kwh/ペールt）
		5	都市ガス原単位（m3/ペールt）

2021年度 福山事業部 品質環境計画書兼実績報告書(例)

重点実施事項	活動内容	目標達成レベル	担当		実施計画														
			誰が	誰に	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1 品質および環境マネジメントシステム(QMS及びEMS)の導入と全従業員による取り組み	1 品質環境マニュアルの教育 : 企画部長一室工場長	全員	企画部	部長	○	→	●												
	2 各工場のQMSおよびEMSの教育 : 室工場長一全員	全員	部長	全員	○	→	●												
	3 内部監査受審と是正	100%是正	部長	副工場長									○				○		
	4 自主パトロール		副工場長	全員			●	17, 23				○							
2 環境汚染の予防と環境負荷低減の維持・向上・継続	1 油・廃液流出トラブル防止：訓練実施	1回/年	副工場長	全員				●	29										
	2 火災訓練実施、消火訓練実施、発災リスクの見直し	2回/年	副工場長	全員				●	29				○						
	3 著しい環境側面の監視と緩和措置	1回/年	部長	副工場長						●								○	
3 関連する法令、その他要求事項の順守	1 環境関連法・条例、その他の変更点まとめと関係者への周知	1回/年	企画部	部長	○	→	●												
	2 環境活動計画表の実施状況確認	毎月	部長	副工場長	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	
4 QMS及びEMSの継続的改善の推進	1 技術標準の適時作成と定期見直し	4回/年	部長	副工場長			●			●				○				○	
	2 作業標準の適時作成と定期見直し（読み合わせ）	4回/年	副工場長	課長(NWS)			●	22件			●	26件		○				○	
	3 作業標準の教育（演練：重要12標準を選択）	1回/月	課長(NWS)	全員	●	14日	●	8日	●	13日	●	10日	●	14日	●	18日	○	○	○
	4 計測機器点検	1回/年	部長	副工場長													○		○
5 個別活動目標	1 ISO18263適合：規格コード合格	100%	部長	副工場長	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%								
	2 クレーム件数	ゼロ	部長	副工場長	0	0	0	0	0	0	0	0							
	コンプレイン件数	5件/年以下			0	0	0	1	0	0	0								
	製品歩留、電力原単位など(以下省略)																		



# 環境への取り組み

## 環境に係わるデータ公開

当社HPでは、施設の維持管理記録を公開しています。工場ごとに管理値を設定し取り組み、各月の実績を毎月更新しています。

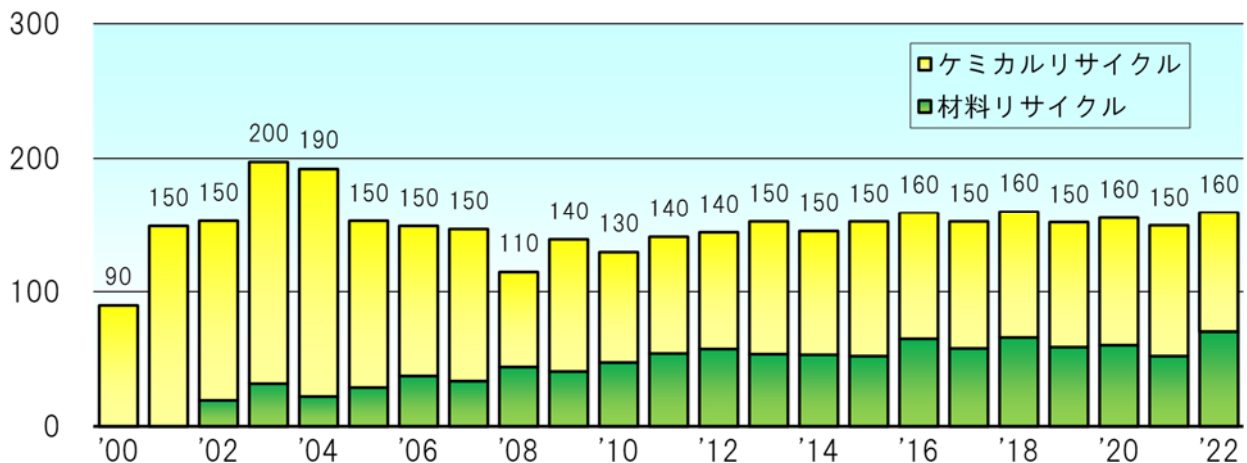
目的	区分	項目	単位	管理値	至近の測定実績			管理値	至近の測定実績			測定頻度	備考	
					4月	5月	6月		4月	5月	6月			
水江	公害防止	①大気(1系)	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.095以下	-	-	0.002	0.028以下	-	-	0.0014	6ヶ月毎	ライン毎
			硫酸酸化物	m <sup>3</sup> N/h	1.37以下	-	-	0.1	1.75以下	-	-	0.0048		
			窒素酸化物	ppm	218以下	-	-	0.0	218以下	-	-	15		
		①大気(2系)	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.095以下	-	-	0.002	0.028以下	-	-	0.0020		
			硫酸酸化物	m <sup>3</sup> N/h	1.37以下	-	-	0.1	1.75以下	-	-	0.0044		
			窒素酸化物	ppm	218以下	-	-	0.0	218以下	-	-	15		
	②制濁滞留水	pH	-	5.8~8.6	-	-	-	5.5~9.0	-	-	-			
		COD	mg/L	123以下	-	-	-	123以下	-	-	-			
		SS	mg/L	152以下	-	-	-	190以下	-	-	-			
	③臭気	敷地境界	-	23以下	-	-	-	23以下	-	-	15.0			
		ペール置場	-	71以下	-	-	-	71以下	-	-	62.0			
	④振動	敷地境界	dB	57以下	-	-	41.0	57以下	-	-	-			
		敷地境界	dB	71以下	-	-	62.5	57以下	-	-	58.3			
	廃棄物管理	⑥プラ廃棄物発生量	kg/t	240以下	261	246	243	300以下	254	287	234	工場全体	毎月	
		⑦プラ廃棄物熱利用効率	%	79以上	74	74	73	74以上	78	88	75			
		⑧汚泥排出量	kg/t	36以下	0	0	0	56以下	0	0	0			
環境負荷管理	⑨CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub> /t	260以下	235	215	216	350以下	354	311	328	工場全体	毎月		
化学物質管理	⑩消泡剤	kg/t	2.6以下	0.0	0.0	1.8	2.7以下	2.3	2.1	2.4				
	⑪油脂	kg/t	0.07以下	0.00	0.20	0.00	0.11以下	0.00	0.00	0.00				
用役管理	⑫電力	kWh/t	390以下	386	357	360	465以下	460	407	431				
	⑬Cガス	m <sup>3</sup> N/t	21以下	20.0	15.0	14.0	11以下	7.9	6.2	5.6				
	⑭蒸気	kg/t	25以下	3.3	1.8	1.5	0.13以下	-	-	-				
	⑮水資源	m <sup>3</sup> /t	0.12以下	0.09	0.08	0.09	0.24以下	0.23	0.20	0.23				
⑯車両燃料	軽油	L/t	3.6以下	3.5	3.5	3.5	4.4以下	2.2	1.7	2.6				
	ガソリン	mL/t	25以下	10.6	9.8	16.3	19以下	0.0	8.0	17.0				

## 容器包装プラスチックリサイクルによる環境負荷削減

当社の行う容器包装プラスチックリサイクル事業は、CO<sub>2</sub>排出削減に大きく寄与しています。以下に、リサイクル手法毎の評価方法による削減効果を算出しています。2022年度のCO<sub>2</sub>排出削減量は160千tとなり、これは一般家庭の年間排出量のおよそ5.8万世帯分に相当します。

### ➤ 容器包装プラスチックリサイクルによるCO<sub>2</sub>排出削減量

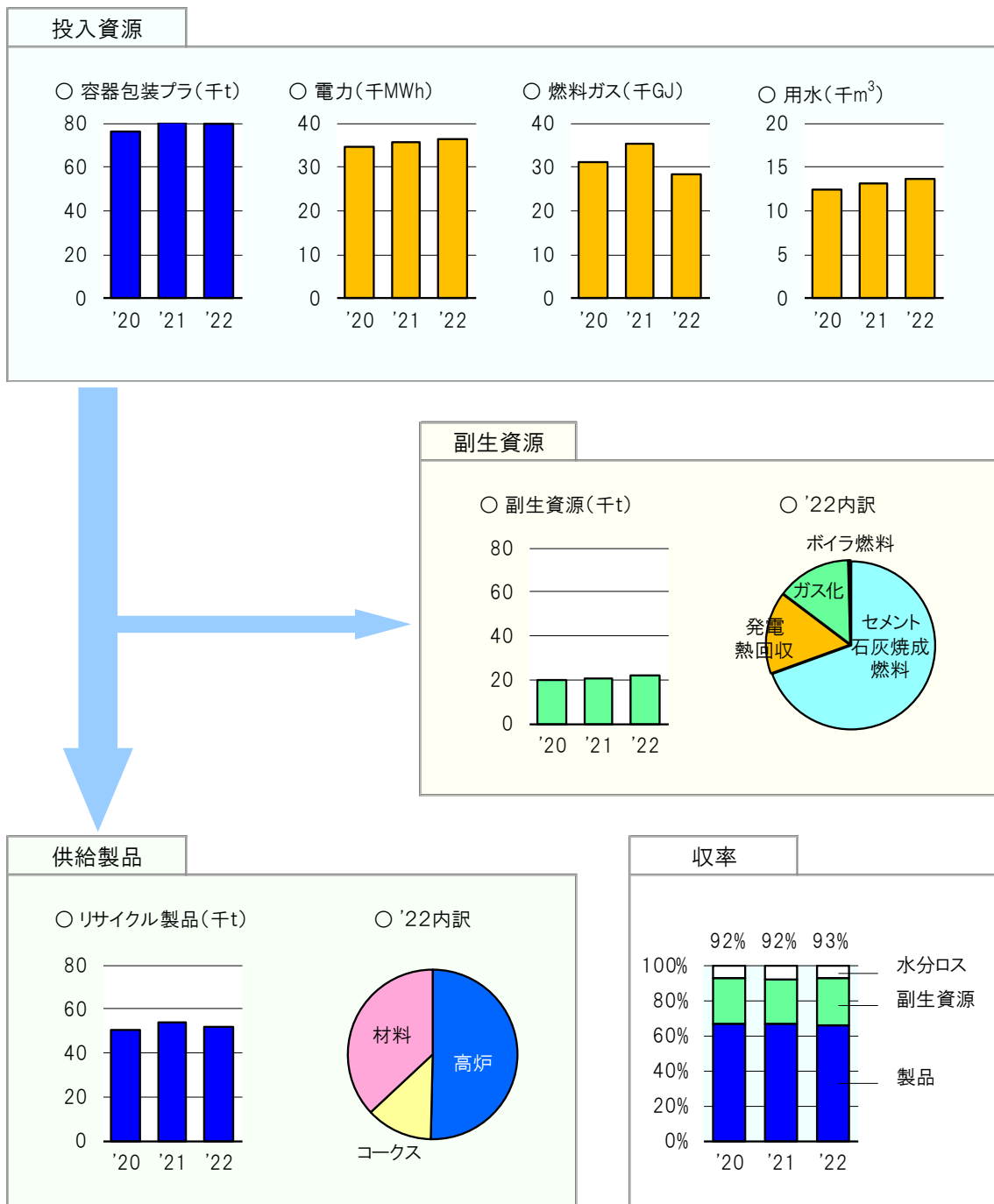
(千 t)



## 容器包装プラスチックリサイクルのマテリアルフロー

一般家庭から排出された容器包装プラスチックを原料として、「高炉還元剤」、「コークス炉化学原料」、「材料リサイクル」のリサイクル製品を製造しています。

容器包装プラスチックは、廃棄すれば環境に負の影響を及ぼします。一方、回収し適切な処理を行えばすべて再利用可能なものです。当社はすべて再利用を行っており、リサイクル製品及び副生資源を合わせた総合収率は 90%を超え、水分ロス以外の全量が有効利用されています。



## グリーンコミュニケーションの輪

東西のグリーン推進隊による活動範囲が広がり、花壇を囲んでのコミュニケーションがますます増えてまいりました。当社HPで活動風景を公開し、ほっこりしていただけるような色とりどりの“季節だより”をお届けしています。

グリーン推進隊からのお知らせ

- 2023
- 2022
- 2021
- 2020
- 2019
- 2018
- 2017

◆ネモフィラ◆

京浜事業部  
2022年04/17(土)



ネモフィラが咲き始めました。綺麗なブルーです。アモリソも開花が始まりました。楽しみですわね！！

いつもお褒めいただきありがとうございます。梅かん池で咲き出したアモリソも開花しました。期待を膨らませながらお楽しみください。🌸

また、池の周りで写真を撮影してもらいました。法政もお楽しみしていますよ🌸





JFEブラリソース  
京浜事業部  
2022年  
5月






●ばらのまち福山●

福山事業部  
2022年05/29(日)



みなさんこんにちは、ばらのグリーン推進隊です。池の周りが賑わっています。今年もたくさん開花を期待します。



ばら園のメンテナンスは毎日行なっています。しっかりと観察を続けて、ばら園に少しでも多くのバラの花を咲かせたいです。今年もたくさん開花を期待しています。お楽しみにしてください。



京浜事業部〈扇島〉






# ソーシャルコミュニケーション

## お客様・お取引様とともに

Webサイトに常に新しい情報を

当社は新たに「NF ボード®DIY」コーナーを設けNF ボード®の活用方法をご紹介します。ホームページの更なる「見やすさ」と「わかりやすさ」の改良に努めています。また、トップバナーに「労働安全衛生方針」を加えました。ステークホルダーのみな様により一層、当社の取り組みを知って頂くため充実を図っています。

### ▶トップページ

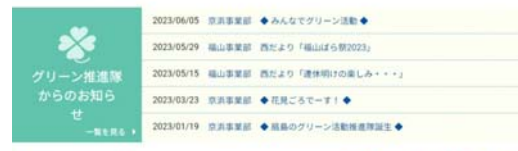
当社が独自開発を行ったNF ボード®をトップページに置き、トピックスなど随時更新をしております。「グリーン推進隊」からのお知らせも含め、当社の取り組みをお知らせできるサイトづくりを目指しています。

### ▶NF ボード®の新たな特性の掲載

2022年より、5つの特性を追加掲載しています。

1. 洗浄乾燥が速い
2. ネズミに咬まれない
3. アンモニアに強い
4. 高圧洗浄に強い
5. 洗浄後のカビ菌残存率が低い

お客様に寄り添い、試験を実施することで、みな様に有用な情報をお届けできればと考えています。



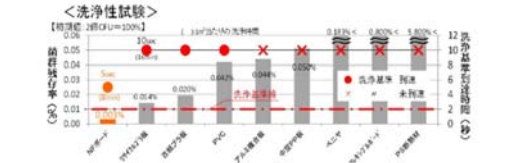
### 新たに5つの性能比較試験（ネズミの増殖試験等）を実施しました。

JFEアラリソース株式会社  
2022年3月22日

当社のNFボード®は、各家庭より排出される使用済みプラスチックを原料とした再生プラスチックボードです。  
NFボード®のご使用につきまして、新たに5つの性能比較試験を実施いたしましたのでご報告致します。

■ 洗浄と乾燥の速さ

試験条件：試験用薬剤水溶液を塗布後12h自然乾燥、室温25℃、湿度65%  
加圧洗浄機 10cm角、高圧洗浄3秒、排水量 100cc/s  
★試験機が要求する洗浄基準を 洗浄残存率0.01%未満、  
菌残存率0.01%以上では、洗浄後の菌数の増殖が完全に抑制されない

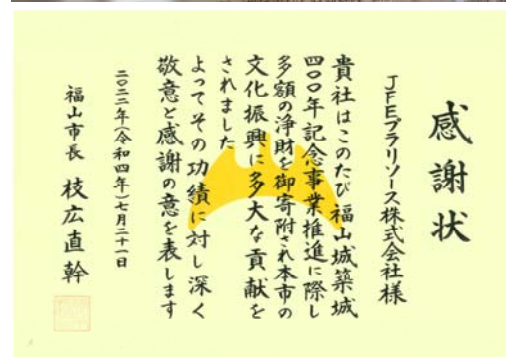
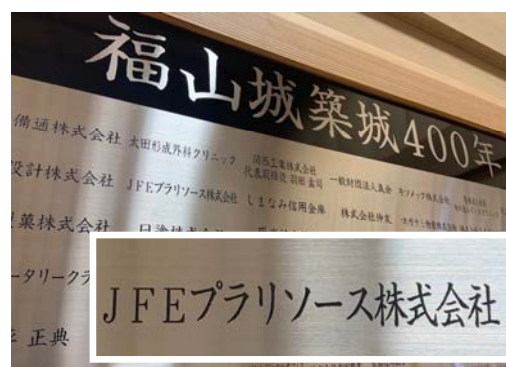


NF：洗浄時間が短くても結果になるうえ、乾燥も速いため作業時間が短縮できる。

## 地域社会のみな様とともに

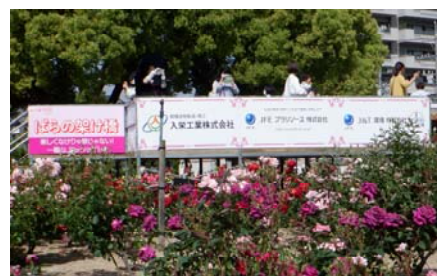
### 「令和の大普請」 遂に完了

福山城は、2022年8月28日に築城400年を迎えました。同時に、全国唯一といわれる鉄板張りをはじめとした福山城天守の外観復元などを行う「令和の大普請」が遂に完了しました。当社は、福山市が取り組む記念事業に賛同し2019年度より継続して寄附という形で記念事業に参加をして参りました。福山市内外のたくさんの人々の思いが一つになって迎えた記念すべき築城400年。魅力あふれる福山城を中心に置く福山市のますますのご発展を、地域のみな様とともに祈念しております。



## 第55回福山ばら祭2022

55回目を迎えた「福山ばら祭2022」は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、参加者が安心して楽しめるイベントとして2日間にわたり開催されました。3年ぶりに会場での開催となり、多くの人々が来場し福山のまちが賑わいました。会場には「ばらの架け橋」が設けられ、当社も協賛いたしました。2025年には「世界バラ会議」が福山で開催されます。福山の魅力を更に引き立てるイベントを楽しみに、当社は引き続きばらオーナーとして福山のまちづくりを応援します。



## 展示会への出展

### ▶第 12 回農業 Week(第 4 回畜産資材 EXPO)

2022 年 10 月 12 日～14 日に幕張メッセで第 12 回農業 Week が開催され、当社は第 4 回畜産資材 EXPO に出展しました。行動規制が緩和された為、国内外、遠方のお客様の来訪が多かったことが印象的でした。

畜舎の新築、改修等、具体的な計画をお持ちの生産者様もたくさん来訪され多くのお客様に NF ボード®の性能を PR することができた展示会となりました。



### ▶第 15 回川崎国際環境技術展

2022 年 11 月 17 日～18 日にカルッツかわさきで行われた第 15 回川崎国際環境技術展に出展しました。新型コロナウイルスの影響で対面形式では 2019 年以来、3 年ぶりの開催となりましたが感染者が増加しているため、前回比：75%減と来場者が少なくなっていました。しかし、地元の小学生の社会科見学対応や、NF ボード®に関心があるお客様でブースが賑わう時間帯も多々ありました。

昨今、SDGs への取り組みが注目されている為、熱心にお話を聞かれるお客様が多く来訪された印象でした。



# 従業員とともに ～安全安心な職場づくり～

## 安全確保から更に安心できるレベルへの挑戦

2021年1月に作成した労働安全衛生方針のもと、当社は「安全職場」から「安全安心な職場」に向けて日々努力しています。

### 労働安全衛生方針

#### <基本理念>

当社は、労働安全衛生活動の確実な実施は、企業経営の基盤であることを認識し、当社で働く人及び地域社会の安全・健康に及ぼす影響を最小限となるよう企業活動の中で「安全は全てに優先する」の理念のもと労働安全衛生管理を徹底し、自負できる職場を目指します。

#### <基本方針>

当社は、以下に基づき労働安全衛生マネジメントシステムの継続的な改善を図り、労働安全衛生活動を年初に「安全衛生防災活動方針」を作成し行っていくことを約束します。経営者は、一年をとおして現場パトロールを行い労働安全衛生活動の継続と維持向上を行います。

- (1) 当社の事業活動による労働安全衛生リスク及び労働安全衛生機会への影響を評価し、重要な項目について、技術的かつ経済的に可能な範囲で、活動目標を「安全衛生防災活動方針」に定めます。  
活動目標は「各職場災害ゼロの達成」です。
- (2) 労働安全衛生関係法令等の法的要求事項及び社内基準を含めたその他の要求事項を順守し、より一層の労働安全衛生管理に努めます。
- (3) 危険源を除去し、労働安全衛生リスクを低減します。
- (4) 当社が行う事業活動の全段階を通じて、労働安全衛生に与える影響の中で、特に以下の項目について、優先的に活動を推進する必要性を認識して、全社的活動として行動します。
  - ① 過重労働及びメンタルヘルスに対して健康障害を防止するため、労働安全衛生管理体制の充実を図り、社員の健康確保対策を推進します。
  - ② 全従業員とのコミュニケーション（協議及び参加）を図り、全員参加の労働安全衛生活動を実行していきます。
- (5) 全従業員に対し、労働安全衛生に関する教育及び意識向上活動を実施します。
- (6) 本労働安全衛生方針は、文書により全従業員に周知させ、社外にも公開します。

2021年1月1日

JFEプラリソース株式会社

代表取締役社長

田村 望

## 2022年度の主な安全活動

当社は、会社の財産である従業員の安全と健康を守るため、毎年、安全衛生防災活動方針を作成しています。活動方針をどのように実行していくかそれぞれの職場で活動計画を作成し実行しています。

### 人と重機の接触防止対策

人と重機の接触事故が発生しない作業環境の実現は当社の目標のひとつです。作業基準で人と重機の近接作業を禁じ、運転訓練をしていますが、こうしたソフト面の対策だけでは防ぎきれないこともあります。当社ではソフト面の対策に加え、歩車分離柵、パトライト、信号機の設置等のハード面での対策を行い、人と重機の接触事故が起こらない作業環境の整備を引き続き進めています。

#### 【歩車分離柵】



#### 【信号機】



#### 【パトライト】





## 熱中症対策

近年の夏は最高気温 30℃以上の真夏日、35℃以上の猛暑日になる日が多く発生しています。当社では、「熱中症警戒アラート」発表時の対応基準を作成するとともに、工場の通気窓の追加、空調服の貸与、ちよい休・ちよい飲みなどの他、フォークリフトへのミスト発生装置の設置なども行い、熱中症の発生防止に努めています。熱中症の発生はありませんでしたが、今後とも、熱中症防止対策を進めていきます。



## その他の安全衛生対策

サル梯子を階段に変更する等による作業環境の改善を引き続き行っている他、注意喚起の掲示の充実を行い常に安全意識を持てる取り組みをしています。



## パトロールの実施

安全安心な職場を目指すためには、日頃から状態や行動をチェックしていくこと、よりよい環境にしていくための方策を考えていく必要があります。当社では、社長をはじめ管理職、管理監督者、安全担当、従業員代表、産業医、協力会社代表が、安全に限らず各種パトロールを実施し、良い指摘は他工場へ展開する、改善を要する指摘は即日から一カ月以内を目標に改善を実施するなどにより、職場環境の維持・向上に努めています。

【安全衛生委員会パトロール】



【危険物パトロール】



【協力会社パトロール】



【防災パトロール】



## 訓練活動

全社で年間約7万トンの指定可燃物（廃プラスチック）を扱う当社では、火災を著しい環境側面のひとつと考えています。このため、毎年消火訓練を実施しています。

また、地震を想定した避難訓練などを実施し、万々に備えています。

【消火訓練】



【避難訓練】



ISO45001 認証取得

2022年12月に、労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格であるISO45001を取得しました。

これにより、労働安全衛生方針に基づき安全衛生活動が行われていること、安全衛生に関する改善の進捗状況が、誰でも確認しやすくなりました。

また、従業員にわかりやすく浸透させるため曼荼羅を作成し、社内に周知しています。



労働安全衛生マネジメントシステム ISO45001 太文字および太赤字:製造現場(工場)が対象  
P:Plan(計画) D:Do(実行) C:Check(評価) A:Action(改善)

<p>6. 製造現場: 簡条4(守るべき事柄) <b>D</b></p> <p>1) 掲示・表示・指示文書の責任の明確化 2) 技術標準、作業標準の整備、見直し、遵守 3) パトロール指摘、事故災害: 処置・報告・是正</p> <p>↓ 法令違反ゼロ(法令遵守) 危険源の除去、安全衛生リスクの最小化</p>	<p>3. 評価: 簡条9 <b>C, A</b></p> <p>1) 安全衛生委員会、パトロール * 製造現場状態 2) 有効性・評価</p> <p>↓ 内部監査、マネジメントレビュー、改善 ↓ 次年度の安全衛生防災活動計画</p>	<p>7. 社長の約束事項: 簡条5</p> <p>1) 説明: 安全衛生委員会、マネジメントレビュー 2) 方針、目標と戦略的な方向性の両立 3) 経営資源の効果的投入 4) 「適合」の重要性を社員に伝える 5) 意図した成果達成(継続的改善) 6) 伝達・教育・訓練の指揮、支援 7) 管理者の役割を支援する</p>
<p>2. リスクへの取組み: 簡条6 <b>D</b></p> <p>1) 達成への確信を与え、継続的改善を成す 2) 望ましくない影響は防止/低減 安全衛生目標(測定可能、監視、伝達各項目) ワースト5活動(現状、対策後、活動後の評価) 設定・更新</p> <p>↓ 計画表: 安全衛生委員会での進捗報告、変更設定・2回/年報告</p>	<p>意図した成果: 達成すべきこと</p> <p>1. 安全衛生法令を守る 2. リスクアセスメントを行い危険源を除去及びリスクを最小化する 3. PDCAを実行する 各実行、システム自体</p>	<p>4. 改善: 1回/年以上行なう: 簡条10 <b>A</b></p> <p>1) 意図した成果(左記)の達成 2) 安全衛生パフォーマンスを向上させるため本システムの評価と継続的な改善 &lt;手段: 内部監査・災害報告書、実行の分析・評価&gt;</p> <p>1) パトロール指摘・事故災害の評価 2) 有効性の評価(各実行、システム自体)</p> <p>パトロール指摘・事故災害処置、マネジメントレビュー、改善</p>
<p>5. 運用(するもの): 簡条8 <b>D</b></p> <p>1) 製造: 技術標準、個人カルテ 2) 外部委託: 購入仕様書、工事要求書、請負契約書 3) 設計・開発: フェイル・セーフ、フル・ブルーフ 4) 異常兼是正報告書、災害報告書</p>	<p>1. リスクへの取組み: 簡条6 <b>P</b></p> <p>危険源の特定 ↓ 評価</p> <p>1) 危険源(の除去、低減) 2) 遵守義務の正しい遂行 3) 法令違反リスク に取組む</p>	<p>8. 資源: 簡条7</p> <p>1) 人 2) インフラ 3) 技術 4) 資金: 安全投資 5) 知識・教育 6) 力量: 訓練 7) 安全衛生リスクの認識 8) コミュニケーション 内部: 行事 外部: 安全衛生委員会議事録 9) 文書: 情報 作成と更新および管理</p>

## 従業員とともに ～ウェルネスライフの実現に向けて～

### ハラスメントのない安心できる毎日のために

当社は、全てのステークホルダーに向けハラスメント防止について宣言しています。  
当社ホームページにも掲載しています。

#### ハラスメント防止宣言

職場におけるハラスメントは、従業員の個人としての尊厳を不当に傷つける社会的に許されない行為であるとともに、従業員の能力の有効な発揮を妨げ、また、会社にとっても職場秩序や業務の遂行を阻害し、社会的評価に影響を与える問題です。当社はハラスメントのない健全な職場環境の確保を企業の責任と考え、基本方針を定めます。

1. 当社は下記のハラスメント行為を容認しないことを宣言します。

(1) パワーハラスメントに類する行為

職場の上下関係、雇用形態の違い等による職務上の地位や権限など権力差を背景にして、相手の人格や尊厳を侵害する行為を行うことにより、相手や周囲の人に身体的・精神的な苦痛を与え就業環境を悪化させる行為。

(2) セクシャルハラスメントに類する行為

事業主は、職場において行われる性的な言動に対するその雇用する労働者の対応により当該労働者がその労働条件につき不利益を受け、又は当該性的な言動により当該労働者の就業環境が害される行為。

(3) 妊娠・出産・育児・介護に関するハラスメント行為

職場において行われる上司・同僚からの言動（妊娠・出産したこと、育児休暇等の利用に関する言動）により、妊娠・出産した「女性労働者」や育児休業等を申出・取得した「男女労働者」等の就業が害される行為。

(4) その他のハラスメント

2. この方針の対象は、社員、嘱託社員、契約社員、パートタイム社員、派遣社員等当社において働いているすべての労働者を含みます。

### 3. パワーハラスメントに関する相談窓口について

当社には、内部通報制度があり、相談者の解決に向けたサポートを行っています。なお、相談者はもちろん、事実関係の確認に協力した者に不利益な取り扱いは行いません。

### 4. パワーハラスメント行為者への対応について

パワーハラスメントの行為者に対しては、事実関係を調査の上、就業規則に基づき、厳重な処分を行います。その他、行為者の異動等、被害者の労働条件および就業環境を改善するため必要な措置を講じます。

JFE プラリソース株式会社

代表取締役社長 田村 望

また、今年度より、全従業員を対象にeラーニングによるハラスメント研修を実施しております。

## 産業医との連携

当社は従業員のフィジカル・メンタル両面の健康を守るため、産業医と緊密に連携を図っています。2022年度は、新型コロナウイルス関連、「熱中症対策」・「紫外線」など職場環境に関するもののほか、「アルコール」・「高血圧」などの日常生活に関わるものまで、幅広くご講話いただきました。

2022年度 産業医講話	
4月	『座りすぎを防ごう』 座りすぎは生活習慣病のリスクに 足は第2の心臓、日常生活の中でも歩くことが大事
5月	『熱中症を防ごう！』 職場で行う熱中症対策、コロナ禍における熱中症対策 こまめな休憩、水分・塩分摂取
6月	『ラインケア～現場の管理監督者に求められる役割～』 メンタルヘルス不調予防のため管理者としてどのように対応すべきか 話を聴く時のポイント
7月	『紫外線』 紫外線による健康被害 職場における紫外線障害と防護
8月	『熱中症対策』 熱中症になりやすい状態 職場で行う熱中症対策
9月	『新型コロナウイルス感染症～BA.5～』 感染予防策は、これまでと同じ 効果的な換気～エアロゾル感染対策～

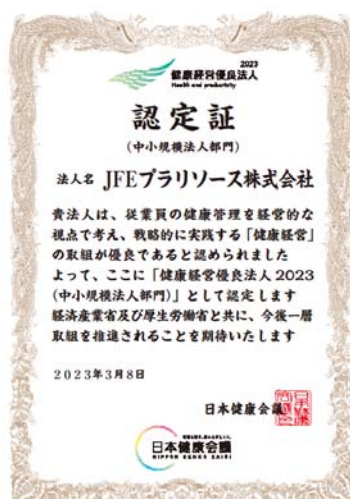
10月	『メンタルヘルス不調で休職した方の復職にむけて』 休業中のケアと復職支援 メンタル不調者の職場復帰支援プログラム
11月	『アルコール』 酒は百薬の長…されど万病の元 飲酒量と体内アルコール濃度の関係
12月	『京浜地区産業医巡視まとめ』 産業医巡視報告（好事例を中心に）
1月	『高血圧』 高血圧に悪い生活習慣 新型コロナウイルス感染予防策の継続
2月	『たばこ』、『ストレスチェック&定期健康診断 結果報告』 たばこの影響 受動喫煙による健康被害 ストレスチェック&定期健康診断 結果まとめ
3月	『新型コロナウイルス感染症2019』 新型コロナウイルス感染対策 「5つの基本」 コロナ禍により変化したマスクの考え方

## 「健康経営優良法人 2023(中小規模法人部門)」に認定されました。

健康経営優良法人とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。経営理念、組織体制、制度・施策などが評価対象です。当社は2021年に初めて認定されました。メンタルヘルスケアのeラーニング、女性の健康に関する情報配信などの活動が評価され、健康経営優良法人（中小規模法人部門）の認定を3年連続して受けることができました。

また、協会けんぽ神奈川支部の「かながわ健康企業宣言」事業に参加し、『健康優良企業』に認定されました。

引き続き、従業員の健康維持・増進に努めていきます。



## ダイバーシティの推進

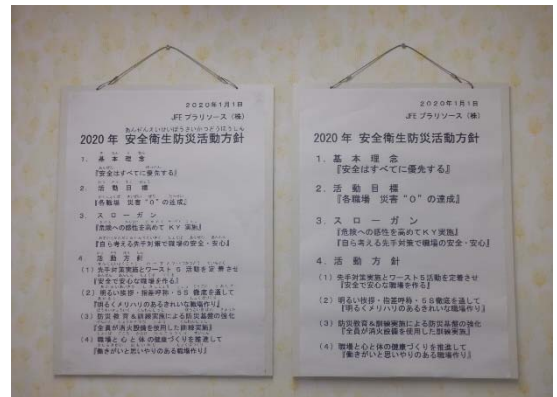
ダイバーシティ経営とは、性別・人種・国籍・宗教・年齢・障がいの有無などの多様性だけでなく、キャリアや経験、働き方などの多様性も含んだ人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげていく経営ことです。当社では現在、日本をはじめとしブラジル・コロンビアなどの出身を異とする従業員が各職場にて活躍しています。同様に、障がい者も本社の企画・管理部門で活躍しており、周囲の人の偏見や差別意識といったバリアもなく経営に貢献しています。

また、当社が直接採用した従業員は、すべて中途採用でありそのキャリアや経験を活かして経営に貢献しています。職場内では、グループや個人間でそれぞれが工夫を重ねコミュニケーションを図っています。当社は、制度などの枠組みづくりに加えひとりひとりが他者を受け入れ理解し認め合うことのできる環境醸成を継続的に推進しています。

外国人従業員向け標記



ルビ付き掲示物

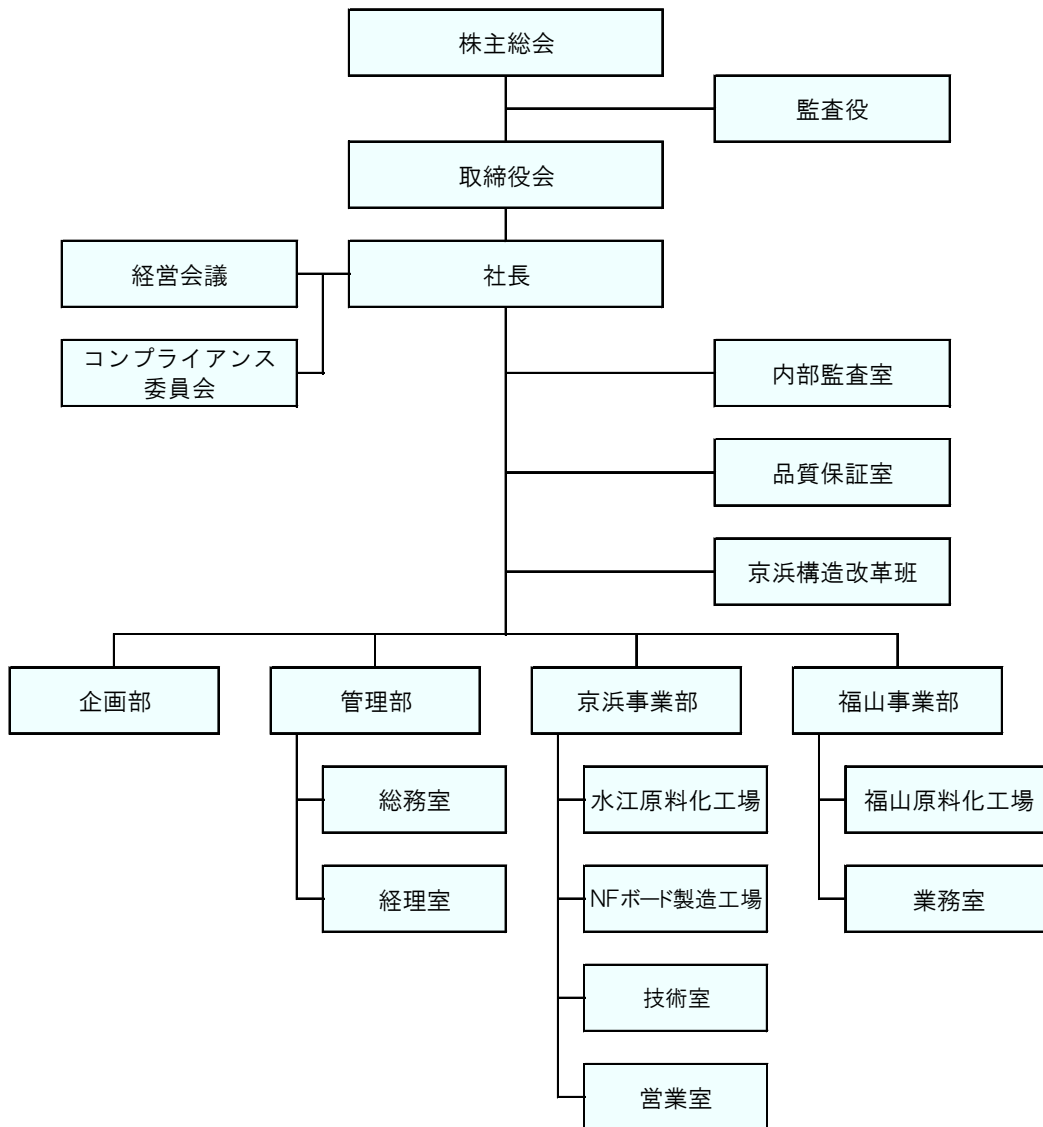


# コーポレートガバナンス

JFEプラリソース株式会社は、ステークホルダーのみな様のニーズと期待に応えることを企業経営の最重要課題とし、体制を整備しています。

## 経営体制

スリムな経営体制を構築し、効率的に事業推進することで、競争力の強化と収益力の拡大を図っています。



## 内部統制構築の基本方針

当社の企業行動指針や取締役会規則などをはじめとする、業務遂行に関わるすべての規程、規則などは包括的一体として当社の内部統制体制を構成するものです。企業活動に関わる法令変更または社会環境の変化に従い、さらには業務執行の効率性の観点においてその目的・趣旨が実現されるよう努めるものとしています。



## CSRマネジメント

JFEプラリソースは、長期的な視点に立ち持続可能な社会を構成していく一員として価値ある事業活動を継続することで社会的責任（CSR）を実践します。

### JFEプラリソース株式会社 行動指針

JFEプラリソース株式会社の役員および社員は、「企業理念」の実現に向けたあらゆる企業活動の実践において、「行動規範」の精神に則るとともに以下の「行動指針」を遵守する。

経営トップは自ら率先垂範の上、社内への周知徹底と実効ある体制整備を行い、企業倫理の徹底を図る。

本行動指針に反する事態には、経営トップ自らが解決にあたり再発防止に努める。また、社内外への迅速かつ的確な情報公開を行い、権限と責任を明確にした上で厳正な処分を行う。

#### 1. 良質な商品・サービスの提供

優れた技術に基づいた安全で高品質の商品とサービスの提供に努めるとともに、個人情報・顧客情報の保護に十分配慮し、お客様から高い評価と信頼を得る。

#### 2. 社会に開かれた企業

株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションを図り、企業情報について、社会への積極的な情報公開に努める。

#### 3. 社会との連携と協調

良き企業市民として、社会との連携と協調を図り、積極的な社会貢献に努める。

#### 4. グローバル化

グローバルな視点を持ち、各種の国際規範はもとよりそれぞれの文化や習慣を尊重し、世界の様々な人々との相互理解に努める。

#### 5. 地球環境との共存

地球環境との共存を図るとともに、快適な暮らしやすい社会の構築に向けて主体的に行動する。

#### 6. 政治や行政との関係

政治や行政との健全かつ正常な関係の維持・構築に努める。

#### 7. 反社会的勢力への対応

市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは、一切の関係を遮断し、違法・不当な要求には応じない。

#### 8. 人権の尊重

社会の人々、従業員を個として尊重し、企業活動において一切の差別を行わない。

#### 9. 働きがいのある職場環境

従業員にとって魅力に富み、安全で働きがいのある職場を提供する。

#### 10. 法令の遵守

法令を遵守し、公正で自由な競争に心がけ、適法な事業活動を行うとともに、健全な商慣習に則り、誠実に行動する。

## 調達ガイドライン

JFEプラリソースは、持続可能な社会の実現に向けた活動をサプライチェーン全体で推進していくことを目的に、「JFEグループ企業行動指針」および「JFEグループ人権基本方針」に沿って、「JFEプラリソース調達ガイドライン」を制定いたしました。

お取引先の皆様と本「JFEプラリソース調達ガイドライン」を共有し、サステナビリティに関する取り組みをサプライチェーン全体で推進していきたいと考えております。

お取引先の皆様におかれましては、本ガイドラインの以下の項目についてご理解頂き、積極的に推進して頂くと同時に、皆様のサプライヤーに対しても本ガイドラインに基づいた取り組みを推進して頂くように働きかけをお願い申し上げます。当社はお取引先の皆様と相互理解と信頼関係の維持向上に努めるとともに、ビジネスパートナーとして相互の発展を目指してまいります。

### 1. コンプライアンス

#### <法令遵守>

- ・事業活動を行っている国/地域の関連する法令・社会規範を遵守する。また、国際取引において、条約・協定などの国際ルールを尊重する。
- ・コンプライアンス徹底のための方針や体制、行動指針、教育等の仕組みを整備し実施する。

#### <個人情報・機密情報管理>

- ・サプライヤー、お客様、従業員等全ての個人情報や、取引を通じて得た機密情報を適切に管理・保護する。

#### <サイバーセキュリティ>

- ・サイバーセキュリティ対策に努め、自社および他者に被害が生じないように管理する。

#### <腐敗防止>

- ・政府関係者や公務員、その他のビジネスパートナーとの贈収賄に関与せず、腐敗の防

止ならびに公正な事業慣行の確立および維持に努める。

#### <反社会的勢力との関係の遮断>

・市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体と一切の関係を遮断し、違法・不当な要求には応じない。

#### <公正な競争>

・事業活動を行っている国/地域の関連する法令を遵守し、私的独占、不当な取引制限(カルテル、入札談合等)、不公正な取引方法、優越的地位の濫用などの行為を行わない。  
・サプライヤーの選定にあたっては、品質、技術、価格、納期、安定供給力、信頼性、経営の安定性および CSR の取組み姿勢を総合的に勘案し、常に適切な品質管理・品質保証が徹底されていることを前提に、経済合理性に基づいて判断する。

#### <知的財産の保護>

・自社が保有する知的財産権を保護するとともに、他者に帰属する知的財産権を尊重し、他者の知的財産の不正入手・使用、権利侵害を行わない。

#### <品質保証>

・製品・サービスの品質に関して適用されるすべての法規制を遵守し、自らの品質基準、顧客要求事項を遵守する。  
・高く安定した品質を確保する品質マネジメント体制を構築・適用する。

## 2. 人権尊重

「JFEグループ人権基本方針」の実行に努める。

#### <児童労働の禁止>

・子どもの発達や教育を受ける機会を妨げることのないよう、事業活動を行う国/地域の法令で定められた最低就業年齢に満たない児童の労働を認めない。

#### <強制労働の禁止>

・強制労働、人身売買、奴隷制などの非人道的行為によって得られた労働力を用いない。  
また、これらを社会的に助長する行為を行わない。  
・本人の自由意思によらない労働を行わない。雇用の条件として、パスポート、公的な身分証明書、または労働許可証の引渡しを従業員に要求しない。採用手数料等、国際規

範上で不当とみなされる費用を本人に負担させない。

#### <差別、ハラスメントの禁止>

・企業活動に関する一人ひとりを個として尊重し、人種、国籍、民族、信条、宗教、社会的身分、門地、年齢、性別、性的指向、性自認、障がいの有無、その他いかなる事由による差別も行わない。また、相手の尊厳を傷つけ不快感を与える言動等、その他一切のハラスメント行為を行わない。

#### <先住民・地域住民の権利>

・事業活動を行う地域における住民の土地の権利、水へのアクセス、安全、健康、先住民の権利などを尊重し、配慮する。

#### <安全衛生>

・「安全はすべてに優先する」という基本姿勢の下、労働災害・労働疾病の未然防止に努め、安全で健康な職場環境を常に整備する。

#### <労働時間と休暇>

・事業活動を行う国/地域の労働関連法令に則した休憩、休日を設け、適切に労働時間を管理する。

#### <賃金>

・事業活動を行う国/地域の労働関連法令等で定められた最低賃金、超過勤務手当や法定給付を含むその他の手当を支払い、各国/地域の労働関連法令等に違反する賃金減額を行わない。

#### <結社の自由>

・国際規範・事業活動を行う国/地域の法令に則り、従業員の結社の自由や団体交渉権等の権利を尊重する。

#### <通報窓口の設置>

・従業員や関係取引先等からの不正行為や人権・環境等に関する懸念事項等の通報を受け付ける窓口を設置し、通報者の不利益になるように扱わない体制を整備する。

### 3. 環境

#### <環境との調和>

- ・資源保護、環境保全、生物多様性に十分配慮し、環境と調和した事業活動を継続的に推進する。
- ・事業活動を行っている国/地域の環境関連法令を遵守する。

#### <環境マネジメントシステム>

- ・環境負荷低減に向け継続的改善を行う環境マネジメントシステムを構築し、運用する。

#### <気候変動対応>

- ・カーボンニュートラルの実現を目指し、自社における CO2 排出量の削減を目指すとともに、社会全体の CO2 削減に貢献する。

<環境汚染防止> 大気・水質・土壌・海洋の汚染防止や廃棄物の処理、騒音・振動に関する各国/地域の法規制を遵守し、環境保護に十分配慮する。

#### <資源循環、廃棄物管理>

- ・廃棄物の適正処理・リサイクル等に関する各国/地域の法令を遵守するとともに、資源循環の推進を図る。

#### <化学物質管理>

- ・各種規制、法規に則り、化学物質の管理を行う。
- ・製品に含まれる特定の物質の使用禁止または制限に関して適用される、すべての法規制および顧客要求を遵守する。

### 4. 責任ある調達

#### <紛争鉱物>

- ・責任ある鉱物調達に関わる法令等を遵守し、紛争鉱物の使用を回避する。

### 5. 事業継続計画

#### <BCP の策定>

- ・自然災害、感染症の急速な拡大等危機が発生した場合を想定し、製品・サービスの安定供給を果たすため、事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）を策定するとともに

に、組織的な危機管理を徹底する。

## 6. ステークホルダーとの関係

### <情報開示>

・企業情報の適時・適切な開示を行うとともに、オープンで公正なコミュニケーションを通じて幅広いステークホルダーとの相互理解、信頼関係の維持・発展に努める。

J F E プラリソース調達ガイドラインに関するお取引先の皆様の取り組み状況を、アンケート実施や現地調査等によって確認をさせていただく場合がございます。その際、本ガイドラインからの逸脱が確認された場合には、改善に向けたフォローを実施させていただきます。改善要請にもかかわらず本ガイドラインから著しい逸脱が継続する場合には、当社とお取引を見直す場合がございますので、ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

本ガイドラインの各項目について、当社に関連する取引に関して問題が発生した場合には、ご報告をお願い致します。

## SDGsへの取り組み

当社は、2018年よりSDGs（持続可能な開発目標）に対応する取り組みを進めています。J F E グループが特定したCSR重要課題を主軸とし、経営・環境・安全・人権・ガバナンスにおいてJ F E プラリソースの主な具体的実行テーマを設定しています。

17のSDGs目標と169の対象とするターゲットを照らし合わせ、対象とするターゲットを定め事業活動を行っています。

当社の目指すべきゴールに向けて、本取り組みを継続し発展させて参ります。

詳細及び本報告書対応ページ早見表は、巻尾に掲載しています。



# 事業紹介

## 容器包装プラスチックのリサイクル

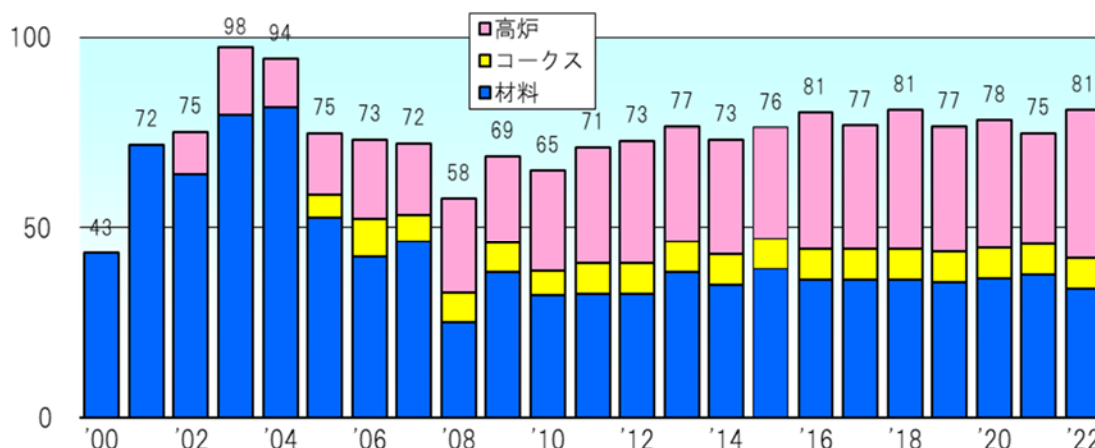
### リサイクルの手法

当社は、「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（容器包装リサイクル法）」に基づき事業を行っています。一般家庭から排出される容器包装プラスチックのリサイクルには、5つの手法が定められており、当社は2000年4月の法施行と同時にリサイクルを開始し、現在「高炉還元剤」、「コークス炉化学原料」、「材料リサイクル」の3手法を行っています。

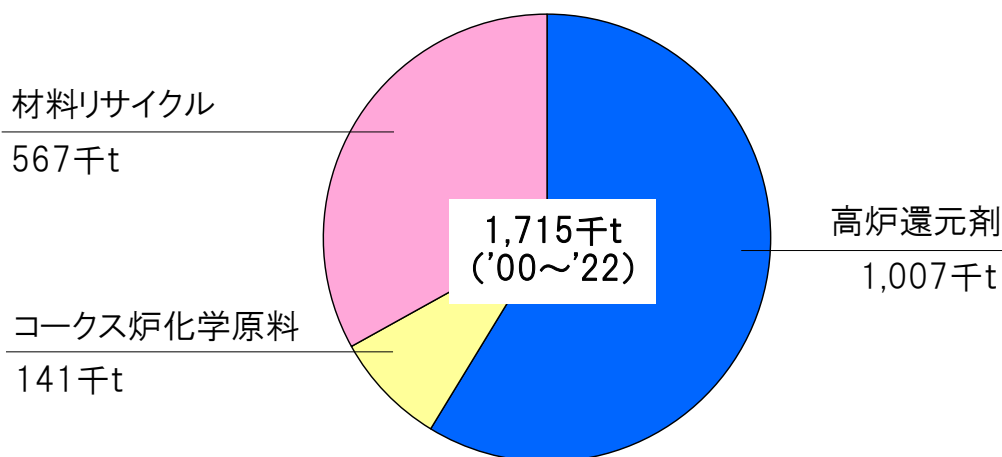
### 容器包装プラスチックリサイクル量の推移

2000年度の事業開始以降2022年度まで、トータル1,634千tの容器包装プラスチックをリサイクルしてきました。これは、全国総量の約13%を占めています。

#### ▶年間リサイクル量



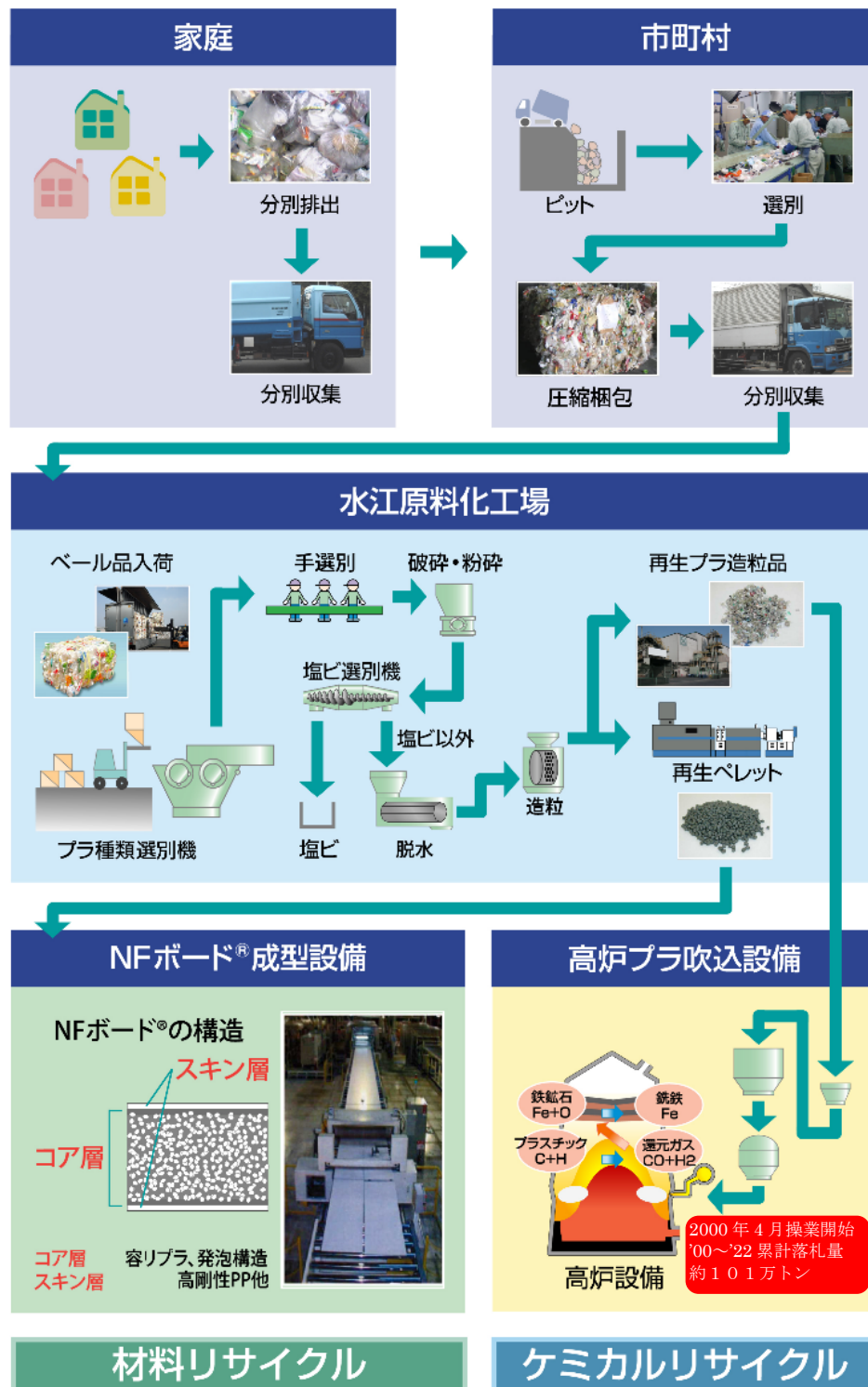
#### ▶リサイクル量の内訳



## 環境と調和した製品・サービス

### 使用済プラスチックリサイクルシステムを通じて

家庭から分別排出され、各自治体で収集された容器包装プラスチックは材料リサイクル（ペレット・NFボード®）やケミカルリサイクル（製鉄所高炉・コークス炉用）として再利用されております。





## NFボード®利用用途の拡大

NFボード®の優れた特性を生かしたご利用用途は拡大中です。

NFボード®は白くて明るく腐らない特性に加え、以下のような特長があります。

- 1) 汚れが落ちやすく、加工がしやすい。
- 2) 耐菌繁殖性に優れ、雑菌も落ちやすい。
- 3) 耐水性・撥水性に優れ、高圧洗浄に強い。
- 4) 耐薬品性に優れている。

DIYから施工まで、みな様が必要とされるあらゆるシーンでお役に立っています。また、新たな特性を見出すべく、研究・試験を絶えず行っており、結果を都度製品カタログへアウトプットしております。2022年度はNFボード®の耐薬品性と汚染洗浄性について試験を行いました。試験の結果、NFボード®は酸性薬剤、アルカリ薬剤、有機溶剤に対して耐性があることが分かり、また油脂系、血液等の汚れに対して洗浄性が高いことが分かりました。当試験結果を新たなデータとしてカタログに落とし込み日々の営業活動に役立てています。

### 畜産





農業



水産



スポーツ



倉庫




## 壁面緑化

壁面緑化







型枠


埋設型枠















## 看板・その他

選挙



イベント





案内看板







DIY












## N F ボード®の認定・認証

当社独自開発のN F ボード®は、様々な認定・認証を受けています。  
環境にやさしい製品であることに加え、建築資材やD I Y資材として用途の幅広さが評価されています。

### 1) 海外商標登録

商標 : J F E N F - P L A B O A R D  
 所掌 : 中華人民共和国 国家工商行政管理総局 商標局  
 登録番号 : 18100179~18100181  
 認定日 : 2016年9月16日  
 所掌 : 中華民国 經濟部 智慧財産局  
 登録番号 : 01793824  
 認定日 : 2016年11月28日

### 2) かながわりサイクル製品認定

所掌 : 神奈川県  
 品目 : 業務用資材・D I Y  
 認定製品 : N F ボード  
 認定日 : 2016年11月9日



### 3) 商標登録








所掌 : 特許庁  
 商標 : N F エコラベル  
 登録番号 : 第5812796号  
 登録日 : 2015年12月11日



### 4) 川崎メカニズム認証

所掌 : 川崎市  
 製品名称 : N F ボード  
 認証番号 : 25-02  
 認証日 : 2014年1月21日



<p>5) 建設技術審査証明</p> <p>所掌 : 一般財団法人日本建築センター</p> <p>技術名称 : 再生型枠「NFボード」</p> <p>認定番号 : BCJ-審査証明-210</p> <p>認定期間 : 2013年9月26日~2023年9月25日</p>	
<p>6) 商標登録</p> <p>所掌 : 特許庁</p> <p>商標 : NFボード</p> <p>登録番号 : 第5481636号</p> <p>登録日 : 2012年3月30日</p>	
<p>7) エコマーク</p> <p>所掌 : 公益財団法人日本環境協会</p> <p>商品名 : NFボード</p> <p>認定番号 : 10 118 027</p> <p>認定期間 : 2010年11月25日~2022年5月31日</p> <p>類型名 : No.118「プラスチック製品 Ver.2.4」</p>	
<p>8) NETIS (新技術情報提供システム)</p> <p>所掌 : 国土交通省</p> <p>名称 : NFボード</p> <p>登録番号 : KT-090078</p> <p>登録日 : 2010年3月26日</p>	
<p>9) 低CO<sub>2</sub>川崎パイロットブランド '09</p> <p>所掌 : 川崎市</p> <p>認定製品 : 再生プラスチックコンクリート型枠「NFボード」</p> <p>認定日 : 2010年2月</p>	 
<p>10) グリーン購入</p> <p>所掌 : 環境省</p> <p>分類 : コンクリート用型枠</p> <p>名称 : NFボード</p> <p>施工日 : 2008年3月10日</p>	

## 技術レポート ～LCA に基づく NF ボード®の環境側面の評価～

容器包装リサイクル協会の LCA レポートでは、コンクリート型枠パネルとして使用された際の環境負荷（Greenhouse Gas 排出量（以下、GHG 排出量））がライフサイクルで定量的に評価されています※1。

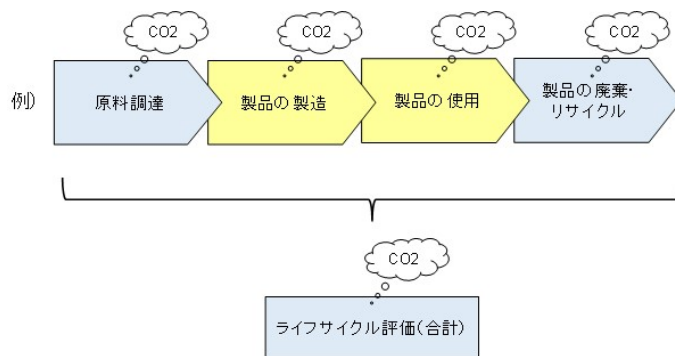
近年は畜舎の内壁材や天井材としての使用用途も増えてきたことから、改めて畜舎内装用資材として使用した場合の環境負荷（GHG 排出量）について、他資材との比較を含め LCA 手法で評価しました。

※1 財団法人 容器包装リサイクル協会

「プラスチック製容器包装再商品化手法に関する環境負荷等の検討」

### LCA とは

ライフサイクルアセスメント（LCA）は、製品やサービスの原料採取から廃棄に至るまでにおける環境への負荷（資源やエネルギーの消費、環境汚染物質や廃棄物の排出など）を定量的に評価する手法です。LCA は国際標準化機構 ISO14040/44 として規格化されています。



### 目 的

畜舎内装用資材は、飼育する畜種や飼養環境により腐食状況が異なるため、LCA 手法で比較評価した先行文献はありませんでした。NF ボード®は、容器包装プラスチックをリサイクルした製品（再商品化製品）であり、環境への負荷は低いと想像できますが、定量的には把握できていませんでした。

そこで、NF ボード®が環境負荷の低い製品であることを定量的に、他材料と比較検証することとしました。

本検証により、NF ボード使用により畜産業界全体での環境負荷低減に寄与できると考えます。

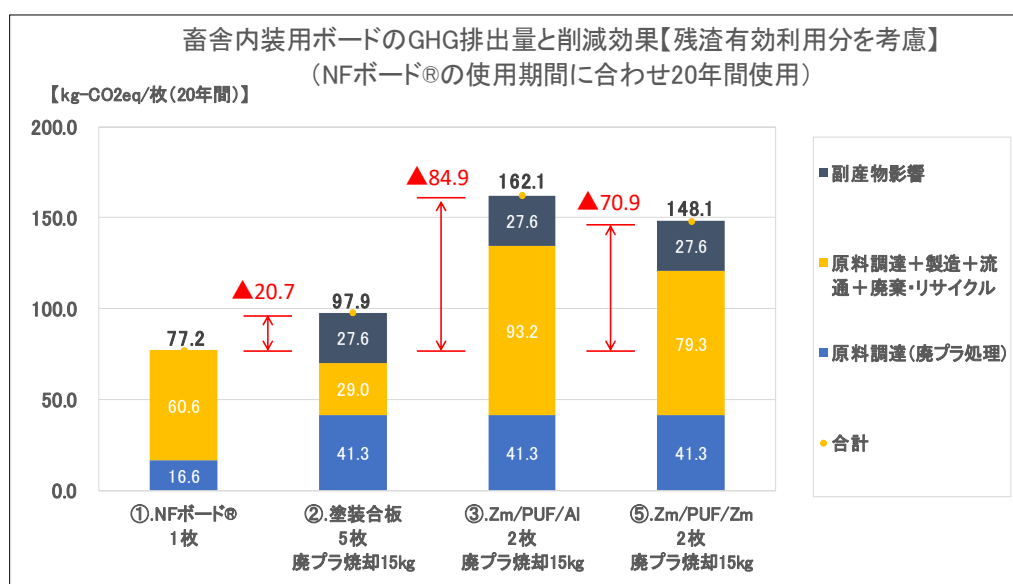
## 前提と評価範囲

NF ボード®はリサイクル品であることから、リサイクル品の機能や寿命を考慮した環境負荷を算定し比較することとしました。使用期間は実際に各資材を使用している企業農家にアンケートを実施して把握しました。

項目	NFボード®	塗装合板	金属断熱複合板
製品名	NFボード®	塗装合板（輸入品）	金属断熱複合板（Al or Zm鋼板）
仕様	12mm厚 幅600mm、長さ1800mm 重量 9.5kg/枚	12mm厚 幅600mm、長さ1800mm 重量 8.0kg/枚	40mm厚 幅600mm、長さ1800mm 重量 7.2kg/枚（Al） 8.8kg/枚（Zm鋼板）
用途	畜舎内装（天井・壁）	畜舎内装（壁）	畜舎外装用ほか（Al：天井） （Zm鋼板：壁）
使用期間（寿命）	20年間（アンケートデータ）	4年間（アンケートデータ）	10～20年間（アンケートデータ）
機能単位	容リプラ15kgの適正処理 NFボード1枚（9.5kg）の提供	塗装合板1枚（8.0kg）の提供	ボード1枚（7.2kg、8.8kg）の提供
副産物の利用	残渣（ガス化、セメント原燃料化、エネルギー回収）	なし	なし
システム境界	容リプラべール品の再資源化 ～NFボードの廃棄まで （Cradle to Grave）	原木の生産～塗装合板の廃棄まで （Cradle to Grave）	原料生産～ボードの廃棄まで （Cradle to Grave）

## 算定結果

NF ボード®の製品寿命を 20 年とした場合のライフサイクルでの GHG 排出量は 77.2 kg-CO<sub>2</sub>eq/枚 であることが分かりました。競合資材に対する GHG 排出削減効果も把握しました。原材料に容器包装プラスチックをリサイクルしていること、NF ボード®を製造する工程で発生する副産物が有効利用できることによる副産物控除効果があることにより、競合資材を使用するより GHG 排出量を削減できることが分かりました。



共同研究先：学校法人 日本工業大学

当社は NF ボード®の普及に注力いたします。

# JFEプラリソースのCSR重要課題

## JFEグループのCSR重要課題（マテリアリティ）

JFEグループは、5分野・13項目のCSR重要課題を特定しています。

### ● 特定したCSR重要課題

特定したJFEグループのCSR重要課題は、以下の5分野・13項目です。  
 当社グループは、あらゆる事業活動および社会活動において基本となる人権を尊重しながら、公正かつ透明性の高いコーポレートガバナンスを基盤として、これらのCSR重要課題の取り組みを推進していきます。  
 CSR重要課題への取り組みは、「世界最高の技術をもって社会に貢献します。」という企業理念の実践であり、これらを通じてグループの持続的な成長と持続可能な社会の実現への貢献を目指します。

**企業理念** 常に世界最高の技術をもって社会に貢献します。

課題の分野	内容	CSR重要課題	
事業活動	良質な商品の提供とお客様満足度の向上	● 優れた技術に基づいた商品とサービスの提供	商品安定供給
		● 安全で高品質な商品の安定供給を継続	品質確保
		● お客様の課題の解決	研究開発の推進
			お客様ニーズへの対応
	地球環境保全	● 環境負荷低減	環境配慮商品の開発と提供
		● 循環型社会の実現に貢献	地球温暖化防止
		● グループの技術力を活かし環境保全に貢献する商品を開発	大気環境の保全
			資源循環の推進
	労働安全衛生の確保	● 安全はすべてに優先する	労働災害の防止
		● 社員とその家族のこころとからだの健康の維持と、働きがいのある職場を構築	社員とその家族の健康確保
	多様な人材の確保と育成	● 全ての人材がその能力を最大限発揮できる環境を整備	ダイバーシティ&インクルージョン
		● 技術・技能の蓄積と伝承	人材育成制度
事業活動の基本	コンプライアンスの徹底	企業倫理の徹底と法令遵守	

コーポレートガバナンス(公正性・公平性・透明性を確保)

人権の尊重・人権意識



事業活動を通じた「持続可能な開発目標 (SDGs)」への貢献

2015年9月に国連サミットで、持続可能な発展のために世界が共有して取り組む17のゴール「持続可能な開発目標 (SDGs)」が設定されました。グローバル社会の要請に対し、JFEグループは事業活動を通じた貢献を目指します。



関連性の高いSDGs						
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	9 産業と技術革新の 振興をつくらう	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	17 パートナリシップで 目標を達成しよう
6 安全な水とトイレ を世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	9 産業と技術革新の 振興をつくらう	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさを 守ろう	
		3 すべての人に 健康と福祉を	8 働きがいも 経済成長も			
		4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 振興をつくらう	10 人や国の不平等 をなくそう
				10 人や国の不平等 をなくそう	16 平和と公正を すべての人に	

JFEグループの  
持続的な成長と  
企業価値の向上

課題への取り組みが  
目指すもの

持続可能な  
社会の実現に貢献

## JFEプラリソースのCSR重要課題

当社は、JFEグループが特定したCSR重要課題を主軸とし、具体的実行テーマを設定しています。17のSDGs目標と、169の対象とするターゲットを照らし合わせ、対象とするターゲットを定め、取り組みを進めています。

JFEグループ 特定したCSR重要課題			当社の主な具体的実行テーマ	
事業活動	良質な商品の提供と お客様満足度の向上	商品安定供給	適正なバリューチェーン 小売り店網整備	
		品質確保	ISO 9001、ISO 18263 に基づく管理体制	
		研究開発の推進	商品開発体制の拡充 研究開発費利益比率2%	
		お客様ニーズへの対応	お客様選択仕様の拡大 エンゲージメント強化	
	地球環境保全	環境配慮商品の開発と提供	再生プラスチック製品の開発と商品化	
		地球温暖化防止	再生プラスチック製品適用市場の拡大	
		大気環境の保全	—	
		資源循環の推進	副産物の製品化開発	
	労働安全衛生 の確保	労働災害の防止	設備・作業の安全化への資本投入 (同一テーマの全工場実行) リスク低減ワースト5活動	
		社員とその家族の健康確保	快適職場の形成 家族参加型レクリエーション	
	多様な人材の 確保と育成	ダイバーシティ & インクルージョン	外国人の雇用 表示・掲示の多国語化	
		人材育成制度	個人別人材育成シートを用いた 社内外教育計画	
	事業活動 の基本	コンプライアンスの 徹底	企業倫理の徹底と法令遵守	多岐にわたるテーマの内部監査 事例教育

SDGs目標		対象とするターゲット	
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	7.2	再生可能エネルギー割合大幅拡大
		7.3	エネルギー効率改善率倍増
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	9.4	環境配慮技術プロセス導入拡大
10	人や国の不平等をなくそう	—	—
11	住み続けられるまちづくりを	11.6	都市部環境影響軽減
12	つくる責任つかう責任	12.1	持続可能な消費と生産プログラム (低炭素型ライフスタイル・社会システム確立)実施
		12.4	製品ライフサイクルでの環境配慮・健康環境悪影響を最小限
		12.5	予防・削減・リサイクル・再利用で廃棄物排出大幅削減
		12.6	持続可能性定期報告
13	気候変動に具体的な対策を	13.1	気候変動・自然災害弾力性・適応力強化
17	パートナーシップで目標を達成しよう	—	—
6	安全な水とトイレを世界中に	6.4	水資源利用効率改善
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	7.2	再生可能エネルギー割合大幅拡大
		7.3	エネルギー効率改善率倍増
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	9.4	資源利用効率向上・クリーン技術・環境配慮技術 プロセス導入拡大
12	つくる責任つかう責任	12.1	持続可能な消費と生産プログラム (低炭素型ライフスタイル・社会システム確立)実施
13	気候変動に具体的な対策を	—	—
14	海の豊かさを守ろう	14.1	あらゆる海洋汚染防止・減少
3	全ての人に健康と福祉を	3.6	交通事故半減
		3.a	たばこ規制
		3.d	健康リスク早期警告・緩和・管理能力強化
8	働きがいも 経済成長も	8.4	経済成長と環境悪化の分断（資源効率改善）
4	質の高い教育をみんなに	4.4	男女の区別無く 雇用・ディーセントワーク(働き甲斐・人間らしい仕事)
		4.5	ジェンダー格差を無くす
5	ジェンダー平等を実現しよう	5.1	女性差別撤廃
		5.2	女性への暴力排除
		5.3	有害慣行撤廃
		5.4	無報酬育児・介護・家事認識評価
		5.c	ジェンダー平等促進
8	働きがいも 経済成長も	8.2	高レベル経済生産性
		8.5	完全かつ生産的雇用・ ディーセントワーク(人間尊厳を保てる生産的な仕事)・ 同一労働同一賃金達成
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	—	—
10	人や国の不平等をなくそう	10.3	機会均等確保・成果不平等是正
10	人や国の不平等をなくそう	10.3	機会均等確保・成果不平等是正
16	平和と公正をすべての人に	16.5	汚職・贈賄大幅減少
		16.10	基本的自由保障

## JFEプラリソース SDGs目標とCSR報告書記載項目対比表

当社の主な具体的実行テーマ	SDGs目標	
適正なバリューチェーン 小売り店網整備	7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに
ISO 9001、ISO 18263 に基づく管理体制	9 10 11 12	産業と技術革新の基盤をつくろう 人や国の不平等をなくそう 住み続けられるまちづくりを つくる責任つかう責任
商品開発体制の拡充 研究開発費利益比率2%		
お客様選択仕様の拡大 エンゲージメント強化	13 17	気候変動に具体的な対策を パートナーシップで目標を達成しよう
再生プラスチック製品の開発と商品化		
再生プラスチック製品適用市場の拡大		
—		
副産物の製品化開発	6 7 9 12 13 14	安全な水とトイレを世界中に エネルギーをみんなにそしてクリーンに 産業と技術革新の基盤をつくろう つくる責任つかう責任 気候変動に具体的な対策を 海の豊かさを守ろう
設備・作業の安全化への資本投入 (同一テーマの全工場実行) リスク低減ワースト5活動	3	全ての人に健康と福祉を
快適職場の形成 家族参加型レクリエーション	8	働きがいも経済成長も
外国人の雇用 表示・掲示の多国語化	4 5	質の高い教育をみんなに ジェンダー平等を実現しよう
個人別人材育成シートを用いた 社内外教育計画	8 9 10	働きがいも経済成長も 産業と技術革新の基盤をつくろう 人や国の不平等をなくそう
多岐にわたるテーマの内部監査 事例教育	10 16	人や国の不平等をなくそう 平和と公正をすべての人に

対象とするターゲット		2023 CSR環境報告書項目	頁
7.2	再生可能エネルギー割合大幅拡大	—	
7.3	エネルギー効率改善率倍増	—	
9.4	環境配慮技術プロセス導入拡大	—	
—	—	—	
11.6	都市部環境影響軽減	—	
12.1	持続可能な消費と生産プログラム (低炭素型ライフスタイル・社会システム確立)実施	品質環境マネジメントシステム JISQ9091:2016 自己適合宣言	3 43
12.4	製品ライフサイクルでの環境配慮・ 健康環境悪影響を最小限	JISQ9091:2016 自己適合宣言 環境と調和した製品・サービス	43 27
12.5	予防・削減・リサイクル・再利用で廃棄物排出大幅削減	容器包装プラスチックリサイクルのマテリアルフロー	7
12.6	持続可能性定期報告	環境に係るデータ公開	6
13.1	気候変動・自然災害弾力性・適応力強化	—	
—	—	—	
6.4	水資源利用効率改善	容器包装プラスチックリサイクルのマテリアルフロー	7
7.2	再生可能エネルギー割合大幅拡大	—	
7.3	エネルギー効率改善率倍増	—	
9.4	資源利用効率向上・クリーン技術・環境配慮技術 プロセス導入拡大	品質環境マネジメントシステム 環境と調和した製品・サービス	3 27
12.1	持続可能な消費と生産プログラム (低炭素型ライフスタイル・社会システム確立)実施	品質環境マネジメントシステム JISQ9091:2016 自己適合宣言	3 43
—	—	—	
14.1	あらゆる海洋汚染防止・減少	容器包装プラスチックリサイクルのマテリアルフロー	7
3.6	交通事故半減	—	
3.a	たばこ規制	健康経営への取り組み	19
3.d	健康リスク早期警告・緩和・管理能力強化	健康経営への取り組み	19
8.4	経済成長と環境悪化の分断(資源効率改善)	容器包装プラスチックリサイクルによる環境負荷削減	6
4.4	男女の区別無く 雇用・ディーセント・ワーク (働き甲斐・人間らしい仕事)	ハラスメントのない安心できる毎日のために ダイバーシティの推進	17 20
4.5	ジェンダー格差無くす		
5.1	女性差別撤廃		
5.2	女性への暴力排除		
5.3	有害慣行撤廃		
5.4	無報酬育児・介護・家事認識評価		
5.c	ジェンダー平等促進		
8.2	高レベル経済生産性		
8.5	完全かつ生産的雇用・ ディーセントワーク(人間尊厳を保てる生産的な仕事)・ 同一労働同一賃金達成		
—	—		
10.3	機会均等確保・成果不平等是正		
10.3	機会均等確保・成果不平等是正	ダイバーシティの推進	20
16.5	汚職・贈賄大幅減少	—	
16.10	基本的自由保障	ハラスメントのない安心できる毎日のために	17

# JIS Q 9091:2016 適合宣言書

持続可能な循環型社会を作り上げていくため限られた資源を有効に使うことが求められる昨今、容器包装リサイクル法の枠組みにおいても、環境負荷低減を目指した環境配慮設計が進んでいます。事業者における容器包装の環境配慮設計の促進と、消費者における環境に配慮した商品の選択につながることを目的として、JIS Q 9091:2016に基づく「適合宣言」を行い、品質マネジメントシステム（ISO 9001:2015）の追加指針としています。

## 適合宣言書

番号 : 0002  
発行者の名称 : JFEプラリソース株式会社  
発行者の住所 : 本社・京浜事業部 神奈川県川崎市川崎区水江町5番地1  
福山事業部 広島県福山市箕沖町113番地  
宣言の対象 : プラスチック製容器包装から材料リサイクル手法にて再商品化したプラスチック再生材料（再商品化製品）  
適合規格 : 上記宣言の対象は、次の文書の要求事項に適合しています。  
JIS Q 9091:2016  
品質マネジメントシステムープラスチック再生材料ー  
事業プロセスパフォーマンスに関する指針  
平成28年10月20日制定

宣言 :  
JFEプラリソース株式会社は、プラスチック製容器包装から材料リサイクル手法にて再商品化したプラスチック再生材料（再商品化製品）について、以下を宣言します。

### (1) 品質確認

- 1) 出荷する再商品化製品の品質確認を実施します。
- 2) 品質管理基準を定め品質管理を実施し、基準に合格したもののみを製品とします。
- 3) 製品品質の推移を監視します。

### (2) 品質の安定性

- 1) 製品のサンプルを品質管理基準に基づき保管します。
- 2) 機器の運転状況を適切に監視します。
- 3) 機器の点検・保守を適切に行います。

- 4) 落札した各保管施設からのベール内容（異物、汚れ等）を把握し、再商品化したプラスチック再生材料（再商品化製品）の品質安定化を図ります。
- 5) 規格外品の混入を防ぎます。
- (3) 保管管理
  - 1) 原料及び製品を、保管管理基準に基づき適正に保管します。
  - 2) 原料は、飛散や増湿を防ぐ処置を行います。
  - 3) 原料及び製品の在庫、保管状況を管理します。
- (4) トレーサビリティ管理
  - 1) 原料の受入日、市町村、数量を記録します。
  - 2) 製造におけるマテリアルバランスを管理します。
- (5) 禁止物質管理
  - 1) 特定顧客向けに製品販売を行う場合には、二者間で取り交わした納品仕様書等に規定した要求事項を遵守します。
- (6) 安定供給
  - 1) 安定供給に努めます。
- (7) 測定機器の校正頻度
  - 1) 社内測定器は、管理基準を定め、校正を含めて管理します。
- (8) 再商品化製品製造量当たりの二酸化炭素排出量
  - 1) 再商品化における二酸化炭素排出量を管理します。
- (9) 再商品化製品製造量当たり水消費量
  - 1) 再商品化における水資源使用量を管理します。
- (10) コンプライアンス
  - 1) 公益財団法人日本容器包装リサイクル協会の定めた「プラスチック製容器包装再生処理ガイドライン」を遵守します。
  - 2) 法令に基づき必要な許認可を取得し、適用される法令を遵守します。
  - 3) 情報セキュリティ管理体制を構築しています。
- (11) 保険
  - 1) 建物、設備、その他資産に関する火災保険などに加入しております。
  - 2) 従業員の損害賠償責任保険に加入しております。

代表者の署名 : 田村 望

発行日 : 2017年12月1日（改定日：2018年6月12日）

発行場所 : 神奈川県川崎市川崎区水江町5番地1



## JFE プラリソース 株式会社

本社・京浜事業部

〒210-0866 神奈川県川崎市川崎区水江町5番地1  
TEL 044-299-5193 FAX 044-299-5328

福山事業部

〒721-0956 広島県福山市箕沖町1-1-3番地  
TEL 084-981-3160 FAX 084-981-3170

<http://www.jfe-plr.co.jp>